

# 消費税率10%含め今秋議論 自民、抜本税制改正で正念場

自民党の与謝野馨前官房長官は15日、都内のホテルで開かれた共同通信社の「きさらぎ会」で講演し、秋に行われる税制抜本改革の論議を通じて消費税増税に道筋を付ける決意を示した。また「福田康夫首相は誠実に政権運営をしており、必死で支える」と述べると同時に「自民党は大きな政策に取り組んでいく気概と勇気が求められている」と強調した。

講演「日本の課題」要旨は次の通り。

## 「田中思想」にピリオド

最近の日本の政治は細かいたるところにどんどん引きずり込まれ本当に骨太のところを議論していない。例えば後期高齢者医療制度。これが天下の一大事というふうに議論しているがそんなことはない。保険料の9割は高齢者に関係のないお金が入り、残り1割を高齢者にお願する制度。決してひどい制度と思わない。そうは言っても払えない

方々には7割、5割、2割と減免する、一銭も結構ですという制度も用意されている。

これが原因で衆院山口2区補選は負けたと言っている人がいるが多分違う。選挙結果を見ると、保険料が高くなるところで自民党は勝っている。補選で負けたのは自民党、福田内閣に対する一般的な評価が表れたと考えるのが正しい。一地方の選挙と考えるのではなく国民の声であり選挙結果から多くを学ぼうとい



自民党の次期総裁候補のひとりとして注目が集まる

う姿勢が自民党には必要だ。福田さんの道路特定財源を一般財源化するという決断はものすごく大きな決断。田中角栄さん以来続いていた公共事業優先思想にピリオドを打った。しか

しアピールの仕方が悪いからあまり大きな決断をしたと見えないうが、福田さんなりの良心と責任感を持って一般財源化を決断されたと思う。

## 経済成長プラス負担必要

本当に取り組まなければならぬ課題としては、まず財政再建がある。国の借金総額は550兆円で、地方を入れると800兆円を超える。歳出削減だけでは穴は埋まらない。そこでどうするか。自民党の中には流派がふたつある。上げ潮派は「経済成長すれば何から何まで解決する」と言う。われわれの流派は経済成長も必要、国民にももう少し負担していただくことも必要、成長プラス歳入改革も必要だと言っている。

上げ潮派の難点は、日本の経済が4%も5%も成長すると思っている。日本の潜在成長力は2%ぐらい。4%成長するにはインフレ率をそれに足すと言う

## 政治 — Politics



与謝野 馨氏（よさの・かおる）東大卒。党政調会長、経済財政政策担当相、内閣官房長官。69歳。衆院東京1区。当選9回。（自民

んです。2%も毎年インフレにしたら国民は怒り、政治は持たない。インフレを当てにして政治をやつてはいけない。成長政策をやらなはいけないのは当然だが、国民に負担をお願いしないとやつていけないのは明白だ。だけど選挙があるので、わたしを含めて国会議員はみんな言いたくない。本当にそれでいいのか。誰が借金を返すかという子ども、孫の世代。後の世代に負担を残しながら今の社会を維持するというのは本来おかしい。やはり税制の抜本改革をやらなはいけない。

## 消費税を社会保障目的税に

法人税や所得税は上げられず、どうしても消費税に話がつてしまいが、消費税は政治家にとつて非常に怖い話。選挙にいったんに負ける可能性がある。びた一文ほかのことには使いません、社会保障として全部還元しますというのじゃないと通用しない。消費税を5%上げると12兆5000億円。これをお願いできるのかどうかというのが、責任政党自民党にとつては正念場の議論になる。

もうひとつ重要なことがある。首相の「道路特定財源は税制の抜本改革に際して一般財源化する。一般財源化は平成21年度から行う」との言葉は重い。今年の夏から秋にかけて税制の抜本改革を党内で議論しないとイケない。谷垣禎一政調会長に抜本改革の中に消費税が含まれるのかと尋ねたら「含む」と言った。法人税、所得税、相続税、地方税制全部含めて今年秋に議

論することになる。「選挙の前にそういうばかな話をするんじゃない」と言う人も大勢いるが、責任政党としてきちんと国民にものを説明し、国としての道筋を付けたいとならない。

## 求められる気概と勇氣

わたしどもが心配しているのは日本の経済力の劣化だ。少しずつ駄目になってるから気付かないけれど、10年たつてほろほろになっていたというのでは困る。日本の社会保障制度を維持し文化芸術を豊かにする基礎をなすのは経済力。科学や技術に丹念に国も民間も投資し、新しい技術分野を広げる。教育レベルもしつかり維持し高める。新しいものに挑戦する人たちを育てることも必要だ。

資源やエネルギー、食糧をどう外交的に安定的に確保するかという問題も政治の課題。今まで駄目だと思われた国内の農業を復活させ、食料自給率を高めるのも長期的には必要だ。環境、

省エネ技術は日本のビジネスチャンスにもなるから、世界に積極的に提供していけばいい。

福田さんは誠実に政権運営をやつておられると思う。自民党としては総裁総理をつくった以上、この政権を必死で支えるという気持ちでやつていかなければならないと思つていますが、大きな政策に取り組んでいくという気持ちで国民に訴えていかないとイケない。大きな問題に取り組んでいく気概と勇氣が自民党に求められている。

今、自民党の中は硬派と軟派に分かれている。軟派はポピュリズムに走り過ぎて「まあ何とかあります」とその日暮らしでしのいでいくやり方。国民に正直に物を申し上げ理解をいただくという努力をすること、がやはり必要だ。わたしが最も恐れるのはこの国が貧しくなること。貧しくなると何もかもできなくなつてしまふ。一定水準の豊かさの国を後の世代に残さうと思つている。